

すき♥スキ♥大好き

No.65

2024年9月20日(金) 高学年例会

開演: 19:00~

会場:メルかつきまちホール



ざんざん&りっちゃんといっしょにあそぼ!

2024年9月21日(土)

低学年例会

開演: 14:00~

会場:平和会館ホール



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町 4-26 北村第一ビル 303 号

Tel : 095-825-0533 Fax : 095-825-6151

E-mail:sukisuki@bird.ocn.ne.jp

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2024年 9月20日

1. 巻頭企画 おしえて!子ども先生
2. 高学年例会 ゆらとまあばあちゃん
低学年例会 ざんさん&りっちゃん表現ワークショップ
3. 第29回長崎県子ども舞台芸術祭典
4. 県連/中ムラサトコ&浅野佳砂音 トークセッション
5. 子どもまつり
6. 高学年キャンプ
7. 親子キャンプ
8. 乳幼児部「クッキー」
9. 絵本のとびら
10. 編集後記

おしえて子どもせんせい

Q.ビッグバンは、なぜおきた？

A.宇宙ができて人が生きれるように

Q.このおじさん、変なんです。

どうして？(大喜利)

A.きもいをこえて、うざエロいから

もっと おしえて子どもせんせい

Q.なぜ、人はうまれたの？

例会の会場ロビーに、解答箱をおいています。

子どもせんせいのユニーク解答待ってます。

質問募集

大人の皆さま～。子ども先生に教えて欲しい質問・お悩み教えて下さい。

舞台鑑賞
★ 9月例会★

高学年例会

■ NPO法人 あそび環境Museum ■

アフタフ・パーバン
とびらよ・ひらけ

参加劇

ゆらとまあばあちゃん

2024年9月20日(金) 19:00 開演 (15分前開場) メルカつきまちホール



「きおく? きおくってなあに?」

ゆらが大好きな仲良しのまあばあちゃん。
最近のまあばあちゃんは、前とちょっとちがうのです…。

「今」を生きる二人が見つけたものは・・・?

歌と音楽、そしてお芝居。
アフタフ・パーバン初の朗読劇風 あそび劇シアターです。

作/演出: 北島尚志
出演: さとうりつこ、金子さん(さんぱら企画)、佐藤響子(劇団銅鑼)

ワークショップ
★ 9月例会★

低学年例会

■ NPO法人 あそび環境Museum ■

アフタフ・パーバン
とびらよ・ひらけ

表現
あそび

ざんざん&りっちゃんといっしょにあそぼ!

2024年9月21日(土) 14:00~15:30 (15分前開場) 平和会館ホール

NPO法人 あそび環境 Museum アフタフ・パーバン は、
広く子どもから大人を対象に活動しています。
あそび・表現活動を通して共にあそび合い関わり合う中で、
一人ひとりが、自分らしく表現できることを目指し、
豊かなあそび環境及び地域社会を作り出すことを目的として、
あそび合いのプログラムを展開しています。



次回例会



低学年

11びきのねこ
(人形劇団クラルテ)

12月7日(土)
15:30 開演
長崎ブリックホール
・国際会議場



高学年

サイレント・コメディ・マジック
(ジン・マサフスキー)

12月20日(金)
19:00 開演
メルカつきまちホール

第29回長崎県子ども舞台芸術祭典 県南地区 10主催 11ステージ

「ふらっとぶらっと」劇団風の子九州

月	日	曜	会場名	開演時間	参加者数	主催者名
7	20	土	三井楽町公民館(五島市)	14:00	59	三井楽バラモンキッズ実行委員会
	29	月	長崎市東公民館(長崎市)	14:30	210	東長崎実行委員会
	31	水	西北・岩屋ふれあいセンター	15:00	154	NPO法人学童保育にしきたキッズ

「へんてこげきじょう」人形劇団京芸

月	日	曜	会場名	開演時間	参加者数	主催者名
8	1	木	長与町老人福祉センター(長与町)	11:00	170	長与子ども劇場実行委員会

「ともだちや」人形劇団むすび座

月	日	曜	会場名	開演時間	参加者数	主催者名
7	31	水	メルカつきまちホール(長崎市)	①11:00 ②15:00	153 174	スマイル実行委員会 I

「さんまいのおふだ」人形芝居燕屋

月	日	曜	会場名	開演時間	参加者数	主催者名
7	23	火	小江原地区ふれあいセンター(長崎市)	10:30	104	スマイル実行委員会 II
	25	木	ダイヤモンドふれあいセンター(長崎市)	14:00	151	ダイヤモンド学童保育ほしのこらんど
	29	月	とんねるクラブ施設(長崎市)	10:00	91	日見学童保育とんねるクラブ
	30	火	野田ふれあい館(時津町)	10:30	130	時津「さんまいのおふだ」公演実行委員会
8	1	木	三重地区公民館 集会場(長崎市)	10:30	122	三重たのしまんば会

●東長崎実行委員会

昨年に引き続き風の子九州の作品に取り組みました。毎年参加の東長崎地域の学童クラブ(4つ)が173名、劇場会員を含め他が37名の参加でした。日頃から子どもたちも異年齢で交わっている東長崎ブロック。2歳児から、小・中学生に大学生も一緒にみんなで一緒に準備から片付けまで力を合わせ楽しみました。



●スマイル実行委員会

【小江原会場(さんまいのおふだ)】
コロナ禍で5年ぶりに取り組みましたが、ふれあいセンターの方にも協賛していただき、一緒に地元の子もたちに生の舞台を届けることができました。久しぶりだったので祭典の良さを伝えるのが大変でしたが、素直な子どもたちの反応に届けられた喜びを感じました。

【メルカつきまち会場(ともだちや)】
前年までは1ステージでしたが、2ステージにしたことでたくさんの親子の方にも観てもらえることができ、また今まで声かけしていなかった学童さんにも祭典を伝えることができました。午前、午後とステージがあったので一般の方も参加しやすかったです。

●時津「さんまいのおふだ」公演実行委員会

今回、時津町での祭典の取り組みはなんと9年ぶり。最初は不安の方が大きかったのですが、新しく2名のメンバーに加わってもらい6名の実行委員でスタートしました。(今回も町の「まちづくり事業」補助金を頂いて取り組みました。) 会場近くの学童クラブさんが参加してくれるということで残りの半分程を一般の方たちをお誘いする形でしたが、当初なかなか参加者が増えず、ハラハラしました。

最終的に130名程の参加を頂き、ホッとしました。今回新メンバーの方も含めた6名の実行委員が各々できることをしっかりとがんばって取り組めた結果だと思えます。



●三重たのしまんば会

コロナ大感染で取り組みなかった作品でした。今回実施できて感慨深いものがあります。今年からより地域に根ざした公民館に会場を移しての公演。参加人数は少なめでしたが、昭和っぽい公民館での公演はとても温かでした。



●三井楽公演



●長与子ども劇場実行委員会

毎年来てくれる学童の他に2学童の1、2年生の参加がありました。チラシがよかったのか、一般の参加も50名近くあり、大人数で観ることができました。ブロックの子どもたちも搬入からお見送りまでできる公演とあって はりきって参加できました。





県連〈学習交流企画〉トークセッション

乳幼児とのかかわりが気づかせてくれるもの

～ありのままがいいと言われるけど...～

〈ゲスト〉ベビーシアター「ぐるぐる」(CAN 青芸)より

中ムラサトコさん & 浅野佳砂音さん

6月7日(金) 会場:諫早市・本野ふれあい会館



ベビーシアターと出会い、乳幼児とあそびあい表現する、二人の舞台アーティストによるトークセッション。その生き方にふれることで、自分のこともみつめてみる機会になればと九州連絡会・乳幼児部企画、県連主催で開催されました。

ながさき子ども劇場からも乳幼児部の4人を含む13人が参加しました。佳砂音さんによる「ほぐしあそび」のあと、県内各子ども劇場から乳幼児部活動の発表があり、そのあとに聞き手による進行で「トークセッション」がありました。

もともと劇団青芸で出会ったお二人。自分がやりたい表現のかたちを模索していたサトコさんに、海外のベビーシアターと出会って、自分も挑戦してみたいと思っていた佳砂音さんが「やるならサトコさんと!」と声をかけ、「ぐるぐる」を制作。

偶然にもお二人にはそれぞれに障がいをもったお子さんがいて、自身の子育てにもいろいろ苦勞しながら、作品とともに育ってきたとのことでした。ある公演の時、ずっと舞台に背を向けていた子どもが公演が終わってから「もう一回!」と言ったことがあり、乳幼児は身体全体でこの場・空間を感じ取っているんだ!と、そんな場面の積み重ねの中でだんだんと自信も持てるようになっていったそうです。

親はつい「成長してもらいたい」「もっとよくしたい」と思って与えようとしてしまうが、子どもが本当に喜ぶことを一緒にやって楽しむこと、親自身が安心して自分であることを大事にしてほしいと話されました。

日々の子育ては大変! 疲れたり、パートナーとの間で行き違いが生じたり、つい肩に力が入ったり…。そんな話を聞いてくれたり、「大丈夫大丈夫」と気持ちを楽しんでくれる仲間、自分にとっての安心できる場。乳幼児部の取り組みの大事さをあらためて感じる機会となりました。



〈県連総会〉

当初はこの日に開かれる予定だった県連総会。トークセッションの後に参加者でいろいろ話したり共有する時間を大事にしたい、(会場に環境が無かった為)あらためて別の日に壱岐も対等に参加できる形の全体オンラインでの開催にしようとして、6月13日に ZOOM 開催されました。学びと交流を大事に、第23年度がスタートしました。

〈当日の感想より〉

本日は素敵なトークをありがとうございました。お話の中で特に印象的な言葉がありました。「自分ファースト」「自分は自分なりの生き方」「こうでなければならない、じゃない」、これらの3つの言葉は私の心をスッキリと軽くさせてくれました♡ 私は18才で長女を出産しました。世間的には「若いママ」大丈夫? と言われたこともあります。その当時の私は「しっかりした母親にならないと」「母親を頑張らないと」とばかり毎日思っていました。ですが、中ムラサトコさん、浅野佳砂音さんのお話の中に「こうでなければならない」じゃない!“お母さんが生き生きしていることが子どもにとって一番嬉しい事” この言葉を当時の私に聞かせてあげたい。きっと心も軽く、楽しく子育てができていたんだろうな～なんて思いました。今後は、「こうでなければならない」じゃなく、「普通は、」とかにとられずに「自分は自分なりの生き方」「自分ファースト」でいいんだよって、子どもたちにも伝えながら楽しく子育てをやっていきます♡ 今、私すっごい幸せです♡ ありがとうございました。(ながさき乳幼児部・Iさん)



子どもまつり ~2024~



今年も 5/5(日祝)に恒例企画の子どもまつりを実施しました！

今回も青年・高校生に加え OB や大人の皆さんと一緒に
実行委員として当日に向け準備を重ねました(^-^)

今年はなんと 5 年ぶりに「ひっちゃかめっちゃか」が復活！
小学生以上の子どもたちが心ゆくまで絵の具を塗っていました！
乳幼児の子たちの「ぺたぺたの儀式」は可愛いが溢れる写真タイムでしたね(*'▽')☆

砦作りや砦崩し、しっぽ取りや人間狩りといった子どもまつりと言えは企画や、
ENDon2 企画のケイドロ+と企画も盛りだくさん！

さらに、参加者が最大 122 名も参加して下さい、
大人も子どもも一緒に盛り上がる事が出来ました(*^^*)

来年の子どもまつりはどうなるか、今から楽しみです～
とりま、雨は降るな！
ほな、じゃねばい | ・▽・)シ♪



高学年キャンプ in 県民の森



今年も恒例企画「高学年キャンプ」を8/10.11.12(土日月祝)の二泊三日で実施しました！

二泊三日の高学年キャンプは6年？7年？振り！しかもキャンプ場が子ども劇場で使うのはおそらく初めての長崎県民の森！青年達もワクワクしながら実行委員会を重ねました(っ´ω`c)

今年はメイン企画に「沢下り」を実施！

沢下りも久々との事で、なんと下見を3回も実施(◎_◎)

…にも関わらず最後の下見からの1ヶ月で地形に変化が…自然って何が起こるか分からなくて楽しいですね(*´▽`*)！

子どもたちは小5から高2までの11名が参加してくれ、青年6名と大人2名を合わせ総数19名を2班に分けて活動を実施(*^^*)

事前の班会時からみんな打ち解けており、初参加の小5組を先輩達がしっかりサポートしているのを見て青年達もウルウル(´；；)

さあ、そんな準備を重ねて実施した高学年キャンプ2024！当日は晴天に恵まれ、予想してなかったミスが発覚したり、カメムシに恐れ慄いたり、3日目朝に揚げ物だったりと初めて尽くし！

来年の高学年キャンプも今から楽しみですな～

ほな、じゃねばい|・▽・)♪



親子キャンプ

どうも～！2024 おやこキャンプ実行委員長のアロハです！

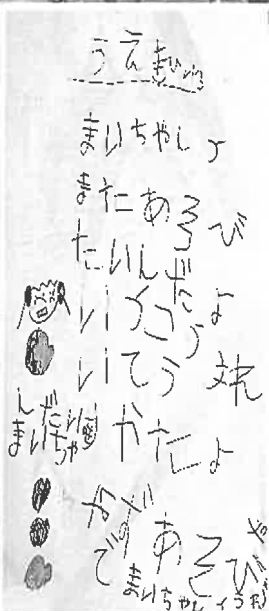
親子キャンプ2日間お疲れ様でした。

久しぶり過ぎて、色々思い出しながらあたふたどうにか乗り切りました。

至らない点沢山あったと思います(汗)色々な所で子ども達のサポート、お母さん、お父さん方のサポートがあって成り立っているキャンプだと改めて思いました。ホント感謝！

2日間だったのに、高学年キャンプの3日間に劣らない充実感に浸っています(身体にも(笑))

来年に向けて、色々反省点あるので、メモしておいて、繋げたいと思います！参加された皆様、自主活動部の今井ちゃん、弘子ちゃん、開さんありがとうございました。



乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

毎月1回 日曜日 10:30~14:00
※日にち・会場については
事前にご確認ください。

*6/9(日)乳幼児例会「オトのサンポ」

出演:中ムラサトコ 参加:0~3才児親子15組

開場してから始まるまでの時間にオリジナルの木製楽器を奏でながらのお出迎えで雰囲気を和ませます。小さな手持ちの楽器やホースでの動物や虫の鳴き声には子どもたちも釘付け!後半は見たこともない長い長いロールペーパーを使って、太鼓のリズムと一緒に楽しいおサンポに出かけます。みんなの好きなどころに転がしてできた長い道の様子を戸惑いながらも徐々に動きだし、ペーパーを思いっきりビリビリガサガサしたら、止まらない。なかなかできないペーパー遊びは小さい子にとって良い刺激になったようです。



*7/7(日)七夕あそび

今日はちょうど七夕の日。遊びに入る前に一人ずつお星さまを持ってお願いごとを発表。子どもたちはアンパンマンに会いたい! バナナをいっぱい食べたい! ママたちはみんな健康で夏休みに旅行したい! かなうといいな♥ 6月乳幼児例会のペーパーを天の川にみたて笹の葉サラサラ~♪の曲に合わせ、きらきら星を散りばめたシフォン布の下を渡ります。黄色とオレンジの紙吹雪も登場しパパに手伝ってもらって傘吹雪の再演。たくさんのお星さまが降り注ぐ様子にわ~キレイ!で拾っては回し、拾っては回して何度も楽しんでいました。

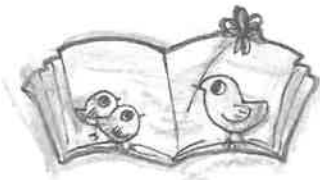


*8/4(日)水辺の森で水遊び

噴水広場は暑い夏に大人気のスポット。乳幼児さんたちも、湧き出す噴水がすごい迫力で流れ出す水路を何度も行ったり来たり、ヒンヤリとした感触を楽しみました。

お昼にはみんなでソーメンの食べ放題! スイカ割りならぬスイカたたきもやりました。片手で持った棒でスイカをチョンチョン、これまたたらふくいただきました。木陰は風も吹いていて、港を眺めながらの楽しい一日でした。





ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介させていただきます**

9月例会はアフタフ・バーバンの朗読劇風 あそび劇シアター「ゆらとまあばあちゃん」。
チラシにはこう書いてあります。

“テーマは「きおく」。でも、みんなと「今」を感じ合う。そして大切に生きる物語です。”
どんなお話なのか期待がふくらみますね。

◆『ざぼんじいさんのかきのき』 すとうあさえ 作 織茂恭子 絵 岩崎書店



ざぼんじいさんの柿の木にはあま〜い柿がなります。でも、ざぼんじいさんはおすそ分けをする気なんてまったくありません。そんなざぼんじいさんのとなりに越してきたのはまあばあさん。柿の木をほめられたざぼんじいさんは、まあばあさんに柿のへたを分けますが、まあばあさんはそれでコマを作って子どもたちと楽しそうに遊んでいます。それを見たざぼんじいさん。これ以上へたをやったるものかと柿をみんなもいでしまいます。

まあばあさんが喜ばば喜ぶほど、ざぼんじいさんは意固地になっていき、しまいには大切な柿の木を切ってしまうはめに・・・。

秋になると読みたくなる絵本です。しかもまあばあさんが出てくるとあつては紹介しないわけにはいかない・・・。読み聞かせにもおすすめです。

◆『だいじょうぶ だいじょうぶ』 いうひろし 作・絵 講談社

ぼくが今よりずっと小さかったとき、毎日のようにおじいちゃんとさんぼを楽しんでいました。道ばたの小さなものにも、ねこにも声をかけるおじいちゃん。おじいちゃんと手をつないで歩いていると、ぼくのまわりはまほうにでもかかったみたいにどんどん広がっていくのでした。

でも、大きくなるにつれてこまったことやこわいことにも出会うようになりました。そのたびにおじいちゃんはぼくの手をにぎり、おまじないのように「だいじょうぶ だいじょうぶ」と言ってくれるのでした。

そして、ぼくは大きくなって、今度はぼくが年を取ったおじいちゃんに言う番です。「だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶだよ、おじいちゃん」



◆『とつときのとつかえっこ』 サリー・ウィットマン 作 カレン・ガンダーシーマー 絵 谷川俊太郎 訳 童話館出版

ネリーとおとなりに住むおじいさんはとってもなかよし。赤ちゃんのときにはおじいさんがネリーをベビーカーに乗せてさんぼに出かけました。よちよち歩きになるといっしょにゆっくり歩いてくれました。

ネリーが大きくなるにつれておじいさんは年を取り、ある日ころんで入院し、車いすに乗って帰ってきたのです。そんなおじいさんの車いすを今度はネリーが押してさんぼに出かけます。これってほんとに「とつときのとつかえっこ」ですね。



<編集後記>

パリオリンピックをご覧になったでしょうか。時差のため夜中の熱戦が続き、その中でも最年少の選手が活躍したスケートボードの競技はハラハラしながら観戦した。さらに東京オリンピックから話題になったのが瀬尻稜さんの解説。「やべー」「すげえっすねえ」「アツい！」さらに「ゴン攻め／ビッタビタ」となるとさらに解説が必要になる。「っす」は「ス体」現代の丁寧語にあたるらしい。これをかなり昔風に言うと「まあ、驚きましたわ、とてもすごいことをなさるのね！」もう少し現代風だと「え～、今のすごくなーい？ ラッキー！」となるのだろうか。舞台作品はどうだろう。やはりその時代時代の「今」が反映されているのだろうか。「台詞もしっかり聴いてみよう」と舞台鑑賞のページを読みながら思った次第である。

